

住環境研究会ひろしま

現在、地球温暖化対策や省エネルギーの問題は待ったなしの課題として現代社会に突きつけられ、住まいについては建物の長寿命化など、住宅性能を向上させることが求められています。また、アトピー性皮膚炎、喘息等のアレルギー性疾患、シックハウス症候群、科学物質過敏症にも住環境が大きく影響していることが判明し、住環境を取り巻く未解決の問題は多々存在すると指摘されています。「そのような状況の中、安全で健康的な住環境を求める人たちに、広島島の気候風土に根ざした広島型の住まいの提案や、情報を交換し合う場を提供し、地域の住環境問題の解決に貢献する」ことを目的に設立されたのが、住環境研究会ひろしまと山下雄朗代表は話します。

同研究会では、住まいから住環境・街づくりまでのさまざまな視点から住居環境を考え、提案していますが、その活動の内容は「住環境に関する調査・研究」「居住に関する



広島島の気候風土に根ざした「広島型」の住まい



山下雄朗理事長

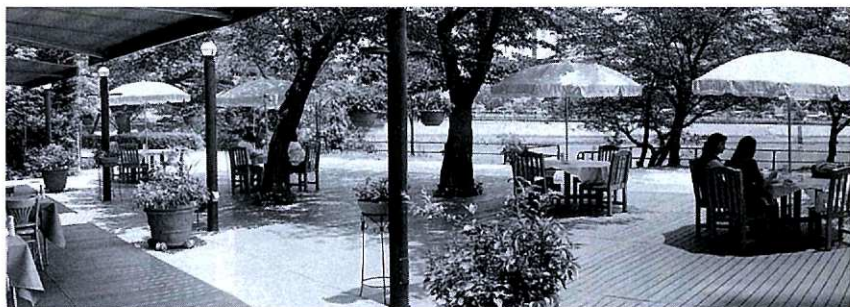
る問題点の把握と解決方法」「提言・情報発信」の三つに大別され、事業の柱となるのが次の三点。

「住まいを考える」——広島の気候風土に根ざした住まいづくり／ライフスタイルをいかした住まいづくり／ユニバーサルデザインの推進／ライフサイクルマネージメントの推進。

「住環境を考える」——シックハウス対策／空気環境・水環境／断熱性能の評価／外壁劣化調査。

「まちづくりを考える」——少子・高齢化への対応／多様な住まい方の提案／都市計画・まちづくりへの提案／まちづくり活動への協力。

活動例としては「外断熱フォーラム in 広島」「建築家と考える住まいづくり」「広島型の安心で快適な暮らしとは?」「お母さんが考える理想の住まい」シリーズなどのセミナーやフォーラム、オープンハウスの見学など。今後、広島の気候風土に根ざし、安全で健康的な暮らしが送れる住環境の提案を、さまざまな形で定期的開催する予定です。



開放感のあるまちづくり